



平成20年10月15日 中庭整備完成式典



四年前 平成の大合併で、佐久市内には公立の高等学校が六校、私立高校が二校と、それぞれの地域性を誇る高校も多く、各校伝には創立百年を超える歴史には、佐久市内には公立の



同窓會長
桂

新しい高校づくりに ご提言を

統に輝く教育方針を樹立し、地域の中等教育を担つて参つております。

普通科・工業科

四年前、平成の大合併に伴い、佐久市内には公立の高等学校が六校、私立高校

が二校と、それぞれの地域にバランスよく並立、なかには創立百年を超える歴史を誇る高校も多く、各校伝

白田高等学校
普通科・職業科
北佐久農業高等学校
(農業科)
野沢北高等学校
(普通科・理数科)
野沢南高等学校

校の二校が専門内外に地歩を築いております。近年の少子化の進行は、別けても佐久地域を直撃、平成二十五年から三十年にかけて、佐久市内公立高校の大幅な統廃合が、今課題となつております。又他地区への生徒の流出も多く、各高校共に魅力ある高校づくりを通して、地域にどのような形で、どのような高校等学校づくりをと願い、市

（普通科・定時
望月高等学校（普通科
私立高等学校は、
佐久長聖高等学校

校の二校が県内外に地
を築いております。

かけて、佐久市内公立高
の大福な統廃合が、今押

の大幅な統廃合が、今となつております。又他区への生徒の流出も多く



内 の 各 公 立 高 校 よ り 学 校
P T A ・ 同 窓 会 ・ 更 に は
域 の 方 々 と 模 索 し て お り
す。 同 窓 生 の 皆 様 に は、
賢 察 下 さ れ 二 十 一 世 紀
向 け 母 校 岩 田 高 等 学 校
魅 力 あ る 学 校 づ く り に、
気 軽 に ご 提 言 を お 寄 せ 願
れ ば 幸 甚 に 存 じ ま す。



高校　臼田高材および岩村田
田高校工業科を再編統合して、新たに総合技術高校を設置することであり、二つ目は、佐久市街地の普通高校は、岩村田高校　野沢北高校、野沢南高校の三校とするというものです。会議では、様々な再編組み合わせが論議され、佐久地域の発展と共に、生徒が自己実現する為に、最も望ましい教育環境の整備を第一義として、将来の方向性が定まつたわけであります。

林田高等學校となりました。その後、時代の要請で工技術者養成の必要性が高まり、昭和三十年代に機械科・電気科を設置いたしました。更に昭和六十一年に機械科一クラスを電子機械科に学科転換する際に、間テクノボリス構想もあ同窓会・PTA・職員の意をもつて、独立工業高等学校の設置と単独普通科高校の転換が陳情されたと昭六十一八年八月発行の同窓報にあります。昭和六十

平同
年に電子機械科が設置され普通科職業科併設のままに今日に至つております。

以上の本校の沿革を顧みると、今回の高校再編は、正に千載一遇のチャンスとなりました。地域の産業界の更なる発展と、地域の明日を担う人材育成のために、輝かしい実績をもとに、牛頭に立つて魅力ある総合技術高校を創造していくことが求められており、準備を

成21年度の定期総会を下記のとおり開催します。
窓生多数、特に若い皆さんのご参加をお待ちします。

定期総会 講演会・懇親会の通知

- 日 時 6月20日(土) 午後2時より
 - 場 所 岩高会館
 - オープニングセレモニー 吹奏楽班演奏
 - 演 題 地域医療の現状と課題
 - 講 師 厚生連佐久総合病院事務長
　　沖 井 博 氏 (京25回卒)

油井博士 氏（高25回生）
聴講無料。ご家族、近所の方を誘っておいで下さい。
懇親会—総会終了後、佐久ホテルにて。
会費 2,000円（当日支拂い下さる）

佐藤長洲先生の 教育思想と学校自治



元同窓会副会長 戸塚 平一郎
(旧中15回)

佐藤寅太郎先生、長洲薰陶をうけたのは岩村田中学校に入学した昭和十四年から先生が校長を退職するまでの三ヶ年間だけであった。

当時はいわゆる戦時体制下であり各中等学校には配属将校といわれる軍人が配属され、熱心に軍事教練が行われていた時代であった。

佐藤校長は衆議院議員

をやりその後岩村田中学校長をやつたといわゆる政治家であり教育者であつたとき

校長は生徒と共に常に新校風の樹立に尽力、とくに知育、体育、德育を重視して校訓を示されていた。

法令厳明
校規肅正
上下和順
精勤砥礪
師者以躬率先
弟道正也

私はこの佐藤校長の示した校訓を心中魂と呼んでいた。この中で育つた私達

同級生の中にも東京帝國大

昔一人の漁夫が川を逆り道に迷つて桃源境の奥にあつて入り込んでしまつた。そこは平和で裕福な生話をきいた。

そこでこの仙境こそが「岩中の学校自治」というものであろう。という話。

あの当時は全く何の話かわからなかつたがあれから数年後に桃源の夢も遂に破れれた時代に入していく

しまつたのである。

佐藤校長のあの校訓をも

とにした大沢心一先生の桃

を終了しました。つづいてゲストとしてお招きした森かをるさん(高5回卒)に「高齢化社会を生きる」と題して講演をしていただきました。今、その真只中に入る私達にとっては、心にとめて学ぶべきとても良いお話をしました。

二部は記念撮影のあと、もう一人のゲスト内堀いつ子さん(高5回卒)の美しい歌声から始まりました。

学生時代からの美声は今も

学(東大)へ三名、海軍兵学校へ二名、陸軍士官学校へも数名の諸君が合格進学している。そして私達の担任の先生に国漢の大沢心一先生がいてこの先生から中学生になつて間もなく、陶淵明の桃花源記という

話をきいた。

そつくりの桃源郷がある。

いずれも昨年度NHK特集で放映されたものだが中国雲南省のバー・メイ村或いは同省のフンサ等、正に風光明媚、平和、のどか、自給自足の村の様子が報道されていた。これが正に当時の岩中校の学校自治の姿ではなかつたかと極めてなつかしく思い出されるのである。

佐藤校長は朝礼で五百の生徒を講堂に集め「質実剛健の氣風を振励し、しっかりととした意志をもつて、信頼に足る人物になれ」とよく訓話をされました。

この生徒訓話や式典、記念日、行事など全生徒を対象に説話されたものは前掲の大沢心一先生がすべて筆録をされまして現在もすべて残つております。記念誌

「頌徳」。

さて佐藤長洲先生を語る

とにした大沢心一先生の桃

と佐藤校長は衆議院議員

昭和十五年十月皇紀二千六百年式典が皇居に於いて岩中校の学校自治の姿ではなかつたかと極めてなつかしく思い出されるのである。

佐藤校長は朝礼で五百の生徒を講堂に集め「質実剛健の氣風を振励し、しっかりととした意志をもつて、信頼に足る人物になれ」とよく訓話をされました。

この生徒訓話や式典、記

念日、行事など全生徒を対象に説話されたものは前掲の大沢心一先生がすべて筆録をされまして現在もすべて残つております。記念誌

「頌徳」。

さて佐藤長洲先生を語る

とにした大沢心一先生の桃

と佐藤校長は衆議院議員

昭和十五年



我が愛する母校、岩村田高校を卒業してから早くも十七年以上が経過した。二十八回岩高祭の実行委員長を拝命し、岩高祭の企画・運営に携わった。当時の校長は下村和彦先生であり、同窓会長は今

高校三年生の時、私は第二回岩高祭の実行委員長を拝命し、岩高祭の企画・運営に携わった。当時の校長は下村和彦先生であり、同窓会長は今

岩高祭の思い出

小林 貴幸（高44回卒）



私の中で、私達の代は、毎年のマンネリ化をストップさせる「区切り」の年でもあり、岩高に新しい風を取り入れる「始まり」の年と考えています。

新しい事や様々な部分を変えることは、勇気がいることだと思います。なぜなら、それは、伝統を壊すという側面を持つているからです。しかし、私は、「伝統」を伝統として、ただ継承した場合、それは、次第

新しくて、本年度はマンネリ化が続き、様々な箇所で刷新が求められています。従つて、本年度はマンネリ化している活動を停止し、手間暇を惜しまずに「新しいモノ」創り続け、何か一つでも伝統になるように努力していきたいと思っています。

今年の岩高祭は去年の岩高祭とは違う文化祭にしたいと思っています。つまり「change」を軸に頑張つて、毎年同じことをやるマンネリ化してきていていると感じます。前夜祭・校内祭・後夜祭などchangeしたことがあります。例えば、前夜祭の企画内容の変更や新しい企画を盛り込んだり、他校の文化祭紹介で見た、いい企画を今年の文化祭に活かしたり、良いものをブ

ラスしてマイナスな部分をなくして少しでも岩高生徒・来校者の方に「去年と違う!」と思わせられる岩高祭にしたいと思います。そして今年は中庭が整備されたので有効活用していくと信じています。

今までの伝統を大切にしつつ、新しい伝統を今年の岩高祭からスタートしたいと思います。一生忘れられない夏がすぐそこにきます! 1年生も2年生もそして3年生も最高の岩高祭の主役は君たち! 振り鳴らせ岩高sound!!

敬称を略させていただきます

今年着任された先生方

長野県教育委員会教學指導課

敬称を略させていただきます



90年庄紳公講演

は安心です。後は大塚先生の言う国、数、英での言語を基礎とした思考力の研鑽です。(柳澤)

事務局からの風景

私は新任教に赴任すると
体育の授業をまず観察します。
いかに生徒達が規律を持つて参加しているか。どのくらい体を動かすことに喜びを見つけ歓声をあげているか、をです。ある学校ではソフトボールの授業で目の前にボールが転がつてきても拾おうともしない生徒もいました。また、徹底的に勉強勉強の学校では一に体育、二に芸術科目、三に国語、英語が最後と話をして生徒が目を白黒させていたことを思い出します。

ここ岩高グランドでは大浅岳を背景に一年生の青、二年生の赤、三年生の緑のジャージが規律正しく先生のもとに整列し、姿勢よく指示を聞き、活動場所へと躍動しながら散つてゆく姿を確認できます。そしてやがて元気な歓声が聞こえます・・・体育の授業に元気に参加できる基本的体力、芸術科目に喜びを見い出せる感性があれば、まず

● 同窓生美術展 同窓生美術展 7月18・19日（絵画・彫刻）
浅間会館に出展希望の方は7月10日（月）までに氏名・卒回・題名・素材・サイズを事務局までファックス（0267-66-1450）でお送りください。作品目録を作成致します。搬入は7月17日（金）午後1時から、搬出は7月19日（日）午後1時から、その後午後5時より佐久ホテルにて懇親会を行います。大勢のご参加をお願いします。

● ご寄付 平素より同窓生の皆様から多額な寄付金をいただいている岩村田高校の教育設備、学習活動、班活動の補助にと多方面に活用させていただいている、感謝申しあげます。ご寄付は通年受け付けておりますので、ご希望がございましたら事務局までお知らせください。翌年度の同窓会報にて掲載

事務局からの風景

